

取組方向～取組方策



推進方向 1

いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進

(現状と課題)

近年、社会が大きく変化してきており、個人が明確な目標や目的意識を持ったり、何かに意欲的に取り組んだりすることが、以前より少なくなりつつあることが指摘されています。

これまで、市民活動交流センター「ミナクール」において、市民活動団体による管理運営の下、市民活動に関する学習会や交流会等の取組、さらに、「ひと・まちづくり」リーダーの養成や地域・家庭・学校と連携した中で、子どもたちに様々な交流・学習活動の機会を提供するなど、地域コミュニティの充実に取り組んできました。

今後、市民一人ひとりが、主体的な学習活動を通して自らを高め、心を豊かにしていくことが必要であり、千歳市の豊かな自然環境や生活環境、地域の教育資源などを生かしながら、市民協働による、活力ある地域社会の実現のための仕組みづくりが求められています。

そのため、この「いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりの推進」を実現するため、次の6つの取組方策を掲げ、市民の活力の下、重点的に推進していきます。



取組方策 1 - 1

市民の自主的な学習活動の支援

市民と市民の学びあいによる、学習活動や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有を基に、協働してまちづくりを推進するための市民の自主的な学習活動を支援します。

(主要事業) : 「千歳学出前講座」

地域課題や生活課題に対する市民の自主的な学習活動を支援するため、「千歳学出前講座」を推進します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 千歳学出前講座メニュー数	238講座	250講座	260講座

事業概要

出前講座の対象は、原則として市内在住者又は市内の事業所、学校等に通勤、通学する者で構成する5名以上の団体としています。

出前講座は、市民が専門性を生かして講師を務める『市民編』、市内に存する事業所等が業務の内容を紹介する『仕事編』、市が市政に関する情報提供を行う『市役所編』から構成しています。

平成21年度実績

(1) 市民編《団体》	53講座	実施回数 52回	受講者数 1,905人
(2) 仕事編	31講座	10回	286人
(3) 市役所編	154講座	316回	10,728人



取組方策 1－2

関係機関と連携した 学習支援や交流活動の支援

市民活動団体、企業、行政などが連携し、交流活動の活性化と「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる「学びの循環」を促進する学習機会の充実を図り、市民の生涯学習活動を支援します。

(主要事業) : 「生涯学習フォーラム事業」

市民、企業、行政などが連携した学習支援や交流を図るよう、「生涯学習フォーラム事業」など、関係機関と連携した事業を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 生涯学習フォーラム事業実施回数	0回	1回	2回

事業概要

地域社会を活性化し持続させていくためには、市民一人ひとりが意欲と高い志を持って学び続けるとともに、その成果を地域に還元する仕組みづくりを産官学民で取り組む必要があります。

また、こうした取組を全国に向け発信することとして、生涯学習フォーラム事業を実施します。

取組方策 1-3

生涯学習活動の普及・啓発の充実

“我がまちを想う情熱・自主的な活動・人とのふれあい”を大切にし、自由な市民活動の交流の場、市民主体のまちづくりを考える場、学びあい・高めあう場、ふるさと千歳の再発見の場の充実に努め、生涯学習活動の普及・啓発に努めます。

(主要事業)：「生涯学習まちづくりフェスティバル ふるさとポケット 支援事業」
市民主体のまちづくりのため、学習成果の発表の場や交流機会において、生涯学習活動の普及・啓発を充実します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 「ふるさとポケット」参加団体数	40団体	43団体	45団体

事業概要

ふるさとポケットは、人と人、文化と文化が出会い、人が輝くまちにしたいという思いから、市民が集まり、語りあい、学びあい、高めあい、一緒に「ふるさとポケット」をつくりあげていく過程そのものを大切にし、それぞれの活動を楽しみながらまちづくりに参加することをビジョンとして市民とともに実施しています。

平成21年度実績

平成21年9月20日(日) 10:00~14:00

青葉公園内(なかよし広場、園路、図書館等) 来場者 約17,000人

参加団体 40団体(約508人)



取組方策 1-4

まちづくり活動を行うセンター機能の充実

市民活動交流センター「ミナクール」を、情報収集・提供業務、相談業務や市民活動団体との交流など市民活動をサポートし、生涯学習活動の拠点施設として機能の充実を図ります。

(主要事業)：「市民活動交流センター ミナクール 管理運営業務」

市民や団体の交流など、まちづくり活動を行う「ミナクール」機能の強化を図る運営を推進します。

成果指標		平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 「ミナクール」利用 延べ数	個人	8,423人	9,000人	9,500人
	団体	1,985団体	2,100団体	2,200団体

事業概要

市民活動交流センター「ミナクール」は、市民活動などの生涯学習や市民協働によるまちづくりを推進し、豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現することを目的として、市民ギャラリー4階のスペースを活用し、平成18年8月に開館しました。

平成20年度からは、協働事業として市民活動団体と協働で運営し、市民活動の場、情報の提供、活動相談等に努め、市民活動のさらなる活性化につなげるなど、市民の自主的な活動や交流を積極的に支援する拠点施設となっています。



取組方策 1-5

まちづくりを行う 人材や団体の育成と活動支援

団体、企業、*NPO法人、市民活動の経験者が連携し、地域における人材の発掘を進めるとともに、まちづくりに対する自主性を持った市民の育成や活用を図り、自らが主役となって市民主導のまちづくりを推進し、一人ひとりの魅力がまちの活力となり、人や活動が輝くまちづくりを支援します。

(主要事業) : 「ひと・まちづくりリーダー養成事業」

まちづくりを行う人材や団体の育成と活動支援を図るため、「ひと・まちづくりリーダー養成事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) ひと・まちづくりリーダー養成事業数	5事業	6事業	7事業

事業概要

団体、企業や市民活動の経験者などで構成する「みんなで、ひと・まちづくり委員会」を組織し、「まちづくり」の担い手の拡大を図るため、市民が自ら企画する人づくり・まちづくりを行う人材の育成と市民活動の支援を目的とした事業を企画運営しています。

平成21年度は特に、「キラッと輝く市民主体のまちづくり」をテーマに、先進的な活動を行う市民活動グループとの交流とともに、「みんなで作る・楽しむ・交流する祭！」として、「七夕きらきら祭」の支援や学習会などを行っています。



* 福祉や環境、生涯学習などの幅広い自主的活動を展開する民間の非営利組織。狭義には、「特定非営利活動促進法（NPO法）」により認定された法人（NPO法人）。NPOは、Non-Profit Organizationの略。

取組方策 1-6

地域の力による、 未来を担う子どもたちの活動支援の充実

※「千歳市地域福祉計画」や※「千歳市子育て支援計画」との整合性を保ち、次代を担う子どもたちとともに学ぶ環境づくりや地域ぐるみで子どもを見守り、子どもが安全に育つ安心な環境（場）の確保を推進します。

また、地域住民が学校支援ボランティアとして、学習支援活動や部活動指導など地域の実情に応じた教育活動の支援を行うことや、地域リーダーの養成など地域の教育力の活用を支援します。

（主要事業）：「放課後子ども教室推進事業」

放課後の子どもたちの安心・安全な活動場所を確保し、地域住民の支援による学習・スポーツ・文化活動などの機会を充実させるため、「放課後子ども教室推進事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 （現状値）	平成27年度 （目標値①）	平成32年度 （目標値②）
（目標値） 放課後子ども教室開設学校数	1校		

事業概要

平成21年度から、小学校の校内及び校外施設を活用し、新たな放課後の活動拠点として「放課後子ども教室」を北栄小学校内に開設しています。

「放課後子ども教室」は、子どもたちの健やかな成長を育むために、地域の高齢者やPTA関係者等のボランティアを中心に、通常活動として「スポーツ・自由遊び」、「予習・復習」など自主学習の場や、特別活動として様々な体験活動を実施しています。

子どもが日常生活の中で多くの世代と交流することや、様々な体験活動の機会が少なくなっている現状を踏まえ、新たな開設を目指していきます。

※ 社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画。「千歳市新長期総合計画」の福祉部門の基本となる計画で、福祉の個別計画を束ねる計画。

※ すべての子どもが健やかに育ち、すべての親が安心して生み育てることができるよう、地域全体で子育てを応援するまちづくりを推進する計画。

(主要事業) : 「学校支援地域本部事業」

市民が自らの資格や技能、学んだ成果を活用し、学校活動などの地域活動に生かせる仕組みや体制づくりを推進するため、「学校支援地域本部事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 学校支援地域本部事業開設 中学校区数	1校区	→	→

事業概要

平成20年度から、市内の小中学校における学校活動において、学校が取り組む学習、部活動、学校行事、環境整備活動等に対し、地域住民等のボランティア活動などにより、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するものとして、北斗中学校区においてモデル事業を実施しました。

市民が自らの資格や技能、生涯学習の機会から学んだ成果を実際に地域活動に生かし、教材整備、作物栽培作業、環境整備、学校図書整備、読み聞かせ、茶道、陶芸、調理実習、学校行事、スキー学習、英語学習などの支援を得ることができました。

今後も次代を担う子どもたちとともに、学ぶ環境づくりや子どもが安全に育つ安心な地域づくりを目指します。





推進方向 2

社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実

(現状と課題)

近年、ライフスタイルの多様化や高齢社会の進展に伴い、それぞれの個性に応じた生涯学習を選択するなど、学習ニーズにおいてもますます多様化が進んでいます。

これまでは、社会環境や経済状況などに応じて生ずる、市民の生活課題に関連した学習機会を提供してきました。

市民が自らの課題に取り組むための学習機会の提供は、まちづくりの上でも必要なものとして求められています。

これからの地域社会における高齢者の役割は大きく、地域課題に対して将来を見据え、積極的に取り組むリーダー役や、地域の親に対する子育てのアドバイザー役など、住み良い地域をつくるために必要な存在として、その役割と期待は大きいものがあります。

一方、転出入の多い千歳市では、地域に馴染むまでに時間がかかり、また核家族化が進み、孤立した状況で子育てをする保護者が増えています。

これまでは、親の自覚と教育力を高めるための学習機会を提供してきましたが、今後は、さらに家庭教育力の向上を図るとともに、男性と女性がともに家庭教育に対する意識を高める必要があります。

そのため、市民が抱える身近な生活課題から地球規模の大きな問題まで、様々な学習機会を提供していきます。

取組方策 2-1

市民ニーズに応じた学習機会の充実

人生の各過程における身近な生活課題や、その時々^の経済状況や社会背景で生ずる地球規模の大きな問題に対し、一人ひとりの人間が意識することで解決につながる学習ニーズを的確に捉え、常に市民の生活目線や国際的な視点に立ち、求められる学習内容の分析に努めます。

また、学んだ成果を実生活の中で生かせるように、生活に密着した実践的な学習内容となるよう努め、市民が抱える諸問題に、自らが取り組む意識を持つことができるような学習内容の充実にも努めます。

(主要事業) : 「市民教養セミナー」

地域課題から国際問題まで、市民ニーズや社会的求めに応じた学習機会を提供するため「市民教養セミナー」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 事業アンケート結果で、今後役に立つと答えた人の割合	94.0%	95%	96%

事業概要

内容：市民が安心した日常生活を送るために、解決しなければならない生活課題などに対し、自主的に取り組めるよう、学識経験者や実践活動者などを講師に、生活、環境、科学、健康など、様々な分野の講義や体験学習を実施しています。

対象：市民

会場：市民文化センター

回数：年間10回程度



取組方策 2-2

高齢者の学習機会の充実

高齢者が、住みよい地域づくりを進める上で、何をすべきか、何ができるかを、高齢者同士で考えるための組織的な学習機会の充実に努めます。

また、高齢者に対して、地域が抱える課題や自身の健康、生きがいづくりなどを、様々な交流を通じ、切磋琢磨しながら学ぶ機会の充実に努め、そこから得た学びを地域などで生かす実践的な活動機会の充実に努めます。

(主要事業) : 「千歳高星大学」・「若返り学園」

高齢者の地域参加意識を向上させるための学習内容を充実します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 事業アンケート結果で、地域参加意識の向上につながると応えた人の割合(千歳高星大学)	95.0%	96%	97%

事業概要 (千歳高星大学)

内容：高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造し、地域社会に貢献することができるよう、講義、実習、体験発表、自主的な活動などの組織的な学習機会を提供しています。

対象：概ね60歳以上の市民

会場：市民文化センターなど

学習時間：4月1日から12月31日まで(修業年限2年)

月2回から3回

年間50時間以内(1日概ね3時間以内)

事業概要 (若返り学園)

内容：高齢者が明るく健やかで、生きがいのある生活を送るために必要な社会能力を養うため、講義、実習、サークル活動などの学習機会を提供しています。

対象：60歳以上の市民

会場：市民文化センターなど

学習時間：5月から3月まで

学園行事 年10回程度

学級行事 年2回程度

各サークル活動 月1回

取組方策 2-3

子育てに関する学習機会の充実

子どもが成長する過程で、最も近くにいる親などに対し、子育ての責任や役割、自覚などに関する実践的な学習機会の提供に努めます。また、育児知識の学習の場だけではなく、学習者の意見交換や情報交流の場を提供し、学びを通じた人と人とのつながりを作る場づくりに努めます。

子育て中の親に限らず、子育てを終えた方やこれから親になる方など、幅広い世代に対して、家庭教育に関する意識を高める学習機会を提供します。また、企業や団体、PTAなどと連携し、家庭教育に関する学習活動の支援と促進に取り組むなど、親だけではなく地域全体で子育てを支援する環境づくりに取り組みます。

男性に対し、父親としての自覚や子どもとのかかわり方などについて、考え、学ぶ機会を座学だけではなく、子どもとの体験活動を通じて提供するなどして、男女がともに支えあう※「ちとせ男女共同参画推進プラン」との関連性も重視しながら、家庭教育に関する男性の意識の向上に努めます。

(主要事業) : 「ママさん教室」

子どもの成長に応じた親の学習機会を充実するため、「ママさん教室」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) ママさん教室の実施回数	20講座	22講座	22講座

事業概要

内容：子どもの発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を設けています。

対象：子育て中の母親

会場：市民文化センターなど

回数：春・秋期各10回



※ 男女が対等なパートナーとして認め合い尊重し、支えあえる男女共同参画社会の実現を目指した計画。

(主要事業) : 「家庭教育セミナー」

親に限らず、子育てを終えた方や高齢者など、地域住民も含めて家庭教育に関する学習機会を提供するため、「家庭教育セミナー」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 家庭教育セミナーの実施回数	1 講座	2 講座	2 講座

事業概要

内容：子育て中の親に限らず、幅広く市民に対して家庭教育への関心を高めてもらうための講座を実施しています。

対象：市民

会場：市民文化センターなど

回数：年1～2回程度



(主要事業) : 「男性の子育て講座」

家庭教育に関する男性の意識向上に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 男性の子育て講座の実施回数	3 講座	4 講座	4 講座

事業概要

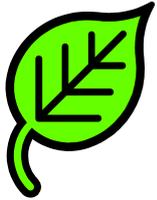
内容：男性の家庭教育への参加促進を図るため、学習や体験活動を通じた講座を実施しています。

対象：子育て中の父親など

会場：市民文化センターなど

回数：年2～4回程度





推進方向 3

市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実

(現状と課題)

多様な市民の学ぶ意欲に応じた学習機会の場となり、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実が重要となっています。

これまでに文化関連施設は、公民館や市立図書館、市民文化センター、市民ギャラリーなどを整備してきましたが、施設の多くは設置から20年以上が経過しています。

これまでは施設・設備の経年劣化や社会環境の変化に対処するため、市民文化センターの大規模なリニューアルや市立図書館の空調設備更新などを行ってきました。

また、スポーツ関連施設では、昭和45年(1970年)の「スポーツ都市宣言」に基づき、「市民皆スポーツ」の視点から、スポーツセンターや総合武道館、温水プール等の屋内スポーツ施設、市民球場、青葉陸上競技場、サッカー場、テニス場をはじめ、多種の屋外スポーツ施設などの整備を進め、市民のスポーツ活動を支えてきました。

今後も※バリアフリー化をはじめとした機能性の向上など、市民に一層親しまれる運営管理が求められています。

これらのことから、市民が安全で快適に利用できるよう施設の耐震化や、設備の更新・改修を計画的に推進し、市民ニーズに応じた機能の充実に努めます。



※ 障がい者や高齢者などが社会生活を送る上で支障となる物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除いたり、軽減すること。

取組方策 3 - 1

市民ニーズを反映した、 社会教育施設の機能の充実

市民ニーズを反映した社会教育の場を形成するとともに、市民サービスの向上を図るため、社会教育施設の機能の充実に努めます。

(主要事業) : 「社会教育施設整備事業」

市民ニーズを反映しながら、社会教育施設の機能の充実に努めます。

成果指標	平成 21 年度 (現状値)	平成 27 年度 (目標値①)	平成 32 年度 (目標値②)
(目標値) 社会教育施設(ハード)に関する利用者からの改善意見件数	34 件	34 件以下	34 件以下

事業概要

社会教育施設として市民文化センターや市民ギャラリー、市立図書館、公民館などの文化施設と、スポーツセンターや総合武道館、市民球場、青葉陸上競技場、温水プールなどのスポーツ施設があり、平成 21 年度の社会教育施設利用者数は約 102 万人に達しています。

これらの施設については、利用者アンケート調査などにより把握した市民ニーズを反映しながら機能の充実に努めます。



取組方策 3-2

安全で快適に利用ができるよう、 施設や設備の計画的な改修・更新

利用者が社会教育施設を安全で快適に使用できるよう、施設の耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修を計画的に推進します。

また、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでもどこでもだれもがスポーツに親しむことができるよう多機能を重視した施設の改修を行うとともに、市民ニーズに沿った施設運営の弾力的運用を図るなど、市民の日常的なスポーツ活動をより一層促進できるよう支援します。

(主要事業)：「文化施設整備事業」

文化施設の設備等の更新・改修を計画的に進め、利便性・安全性の向上に取り組みます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 文化施設の設備等に関する利用者の満足度(市民文化センター・市民ギャラリー)	80.5%	83%	85%

事業概要

市民文化センター、市民ギャラリー、市立図書館、千歳公民館の各施設は設置から20年以上が経過し、設備等の経年劣化が進んでいることから、設備の更新改修を実施しています。

(平成21年度の主な更新改修状況)

- 市民文化センター 空調設備改修工事、昇降機油圧ユニット交換、排煙ダクト等修繕、大・中ホール調光設備修繕、舞台用平台更新など
- 市民ギャラリー 屋根防水工事、冷温水機修繕など
- 市立図書館 空調設備改修工事など
- 千歳公民館 屋根防水工事など

(主要事業) : 「埋蔵文化財センター整備事業」

郷土の自然・歴史・文化に触れ、学ぶことができる安全で快適な場の整備に努めます。

成果指標	平成22年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 埋蔵文化財センターの整備を一層推進します	新埋蔵文化財センター業務開始	入口・廊下の暖房機器設置、屋根の防水シート交換、外壁改修工事を実施します	大昔の生活体験施設を整備します

事業概要

新埋蔵文化財センターが平成22年4月に業務を開始し、併せてテーマ展示、企画展示、講演会、体験学習会を実施する場としての利用がはじまりました。

今後は、センター入口から廊下の部分に暖房機器を設置し、冬季でも入館者を暖かく迎えられるよう整備するとともに、屋根防水シートの交換、外壁改修工事を実施します。

また、土器や石器を使った調理体験、寝泊まり体験ができる実物大の竪穴住居の復元や、焼成までを体験できる土器焼き場など、大昔の生活を体験する施設を整備します。



(主要事業) : 「スポーツ施設整備事業」

スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全性及び快適性の維持と向上に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) スポーツ施設に関する利用者の満足度	80.2%	83%	85%

事業概要

スポーツセンター、武道館、温水プールなどの屋内スポーツ施設、市民球場、青葉陸上競技場、サッカー場、テニス場などの屋外スポーツ施設のほか、学校プール等の既存施設の改修を実施します。



(主要事業) : 「青少年会館管理事業」

青少年の活動の場となる施設の整備に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 青少年会館の主な年間修繕・改修件数	3件	3件以下	3件以下

事業概要

青少年会館は、設置から40年以上が経過し設備等の経年劣化が進んでいることから、修繕改修を実施し施設を維持します。

平成22年度 男女トイレ部改修工事



推進方向 4

多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援

(現状と課題)

転出入者の多い千歳市では、様々な文化意識を持つ人材が多く在住しています。

これまで、千歳市の郷土文化を生かした様々な文化活動や、新たな分野の芸術文化鑑賞機会を提供してきましたが、千歳市で培われたきた郷土文化を理解し深めるとともに、様々な芸術文化を受け入れ、新しい地域文化を創造できる環境づくりが求められています。

近年、印刷技術の向上やインターネットの普及など、様々な広報媒体の発達に伴い、市民が要求する情報を簡単に伝えることができるようになってきました。

これまで、情報紙やインターネットなどの情報媒体を利用し、市民へ様々な芸術文化に関する情報を提供してきましたが、市民が芸術文化を通して豊かな生活を送るためには、今後も芸術文化活動に関する多様な情報を、さらに素速く、適切に、平等に得ることができる環境づくりに努めます。

また、市内の音楽団体や地元出身者によるコンサートやイベント等が積極的に実施され、千歳市出身者の活動や発表の場が設けられるなど、地元の人材を地元で育成する機運は高まっています。

今後も各団体の人材が連携して、千歳市の地域文化の創造を目指す活動を支援します。

取組方策 4-1

文化鑑賞機会の充実と活動の支援

市民が親しみやすく芸術文化にふれることができるよう、市民が求めるニーズを的確に把握し、魅力的で優れた芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めます。

(主要事業)：「市民文化センター自主事業」

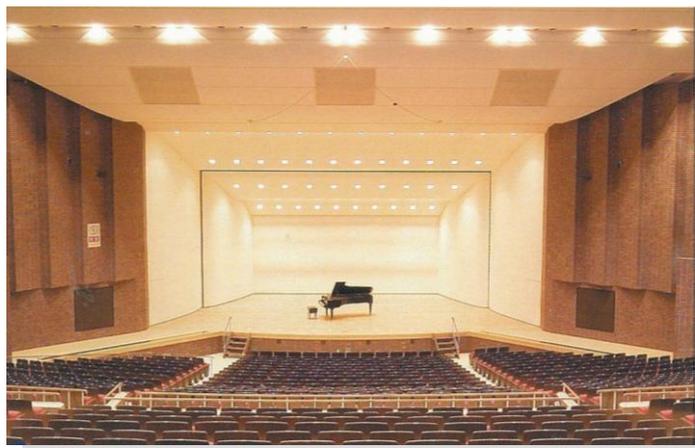
市民ニーズを反映した魅力のある事業を実施するなど、多様な文化鑑賞機会を充実します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 市民文化センター自主事業 数(年間)	38件	40件	42件

事業概要

市民文化センターでは市民の文化鑑賞機会の充実を図るため、千歳市の指導と仕様に基づいてコンサートや演劇鑑賞、絵画展などの自主事業を指定管理者が実施しています。

また、千歳市では文化芸術活動を行っている社会教育関係登録団体の利用料金を減免し支援しています。



取組方策 4-2

文化鑑賞に関する情報提供の充実

市民が多様な優れた文化にふれ、興味を持つための動機付けとなるよう、報道機関や情報紙、インターネット等の広報媒体を利用し、広く市民に芸術文化に関する情報提供を行うよう努めます。

(主要事業) : 「市民文化センターだよりの発行」

多様な文化鑑賞に関する情報提供を充実するため「市民文化センターだよりの発行し、親しみやすい紙面づくりに努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 芸術文化鑑賞機会に関する情報提供の充実(市民文化センターだよりの年間発行回数)	12回	12回	12回

事業概要

市民文化センター及び市民ギャラリーで行われる多様な芸術文化の鑑賞や参加の機会を広く市民に紹介するために、毎月約 42,000 枚を発行し市内の全世帯に配布しています。

取組方策 4-3

読書環境の充実

市立図書館は各世代に対応した図書の充実に努めます。

また、子どもたちや子育て中の親などが読書に親しめるよう、計画的な環境づくりに努めます。

(主要事業)：「図書館運営事業」

各世代が読書に親しめる図書の充実や、「おはなし会」などの読書普及活動の実施と支援を行います。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 市立図書館利用者数(年間)	129,561人	134,000人	136,000人

事業概要

市立図書館では指定管理者が、千歳市の仕様に基づきながら読書普及活動を実施しています。

平成21年度	おはなし会活動	6グループ	78回開催	1,423名参加
	上映会		21回開催	247名参加
	読書会(古典文学と英文原書)		67回開催	431名参加
	講習会・教室		5件	261名参加
	講演会など		8件	947名参加
	参加者延べ人数			3,309名参加

平成21年度蔵書数 284,726冊



取組方策 4-4

文化関係団体やサークルなどの育成と 活動の支援

地域における文化活動の担い手として、芸術家や指導者など、文化芸術活動に携わる幅広い人材の発掘や団体・サークルの育成と活動の支援に努めます。

また、市民で組織された教育、文化、スポーツなどの学習活動団体を社会教育関係団体として登録を行い、公共施設使用料の減免や市民への活動情報の提供など、市民団体の学習活動を支援します。

(主要事業) : 「社会教育関係団体登録制度」

文化関係団体やサークルなどの育成と活動を、「社会教育関係団体登録制度」を通じて支援します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 社会教育関係団体登録数	357団体	380団体	400団体

事業概要

スポーツ、レクリエーション、文化芸術、ボランティアなど、市民の学習活動や社会参加活動を支援するため、自主的な運営活動を行っている団体を社会教育関係団体として認定し、活動に関する情報提供や公共施設使用料の1/2減免などの支援をしています。



取組方策 4－5

活動成果を発表する機会の充実

市民同士が切磋琢磨しながら文化意識を高めることができるよう、創作活動や成果発表の場を提供、顕彰するなどし、文化活動に取り組む個人や団体の、より活発な活動を推進します。

(主要事業) : 「文化活動支援事業」

文化活動の成果を発表する機会を充実させるため、「文化活動支援事業」を推進します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 様々な団体が連携して取り組む文化祭の実施数(チトセ市民芸術祭として実施した展示会や発表会の実施数)	15回	15回	15回

事業概要

様々な文化団体の発表の場である「チトセ市民芸術祭」の実施に係る運営費を補助し、市民の文化活動の促進と千歳市の文化の向上を図っています。





推進方向 5

文化財の保護と継承

(現状と課題)

絶えることなく自然や人の歴史が生み出されてきた千歳市には、豊かで多様な自然環境や文化財が残されています。

国指定史跡「キウス周堤墓群」や「ウサクマイ遺跡群」、重要文化財「動物形土製品」などを代表とする埋蔵文化財をはじめ自然史資料、開拓資料など数多くの文化財に恵まれています。

また、千歳市固有のアイヌ文化や開拓期から引き継がれてきた伝統文化があります。

これらは、千歳市の先人たちが受け継いできた伝統的な技術や芸能などであり、心のよりどころとして地域の人々の支えとなってきたものです。

これまで、開発行為に伴う協議や発掘調査に取り組み、郷土の先人たちが生きた確かなあかしである埋蔵文化財を適切に保存・管理し、情報の公開によって文化財への意識を高めてきました。

また、文化財にふれる環境の充実を目標として郷土資料の収集、文化財にふれる学習機会の充実、国や市の指定史跡の整備と活用を進め、伝統文化の保存・継承の促進を目標として泉郷獅子舞保存会、アイヌ文化伝承保存会の保存伝承活動を支援し、また若い世代の学習活動の充実の促進に努めてきました。

郷土を培ってきた資産や遺産である自然環境や文化財を引き続いて守り伝えていくとともに、市民への公開を積極化し、新しいまちづくりへ活用していくことが必要で、その拠点として埋蔵文化財センターの機能を発揮します。

また、継続する社会基盤の整備や地域の開発に伴い、文化財の保護・保存は今後一層重要となります。

伝統的技術・芸能では、保存や継承の中核となってきた地域の人々だけでなく、多くの市民が関心を持ち理解を深めるための活動に努めます。

取組方策5-1

文化財の保護・保存と活用

地域の貴重な資産である文化財を将来へ確実に守り伝えていくために、保護と保存に努めます。

(主要事業)：「埋蔵文化財発掘調査事業」

埋蔵文化財の法的協議、調査・研究を行い、情報や資料を記録・保存し、後世に伝えます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 埋蔵文化財包蔵地内の工事に 当たり、事前に発掘調査を行い、 遺跡の情報や出土資料を記録・保 存し後世に伝える割合	100%	100%	100%

事業概要

公共事業の対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に該当する場合、埋蔵文化財への影響を回避する事業変更の可否や程度について事前の協議を行います。

文化財への影響が不可避の場合、発掘調査を行って遺跡を記録保存し、分析・研究を通して得られた情報を詳細な数値・画像データとともに報告書としてまとめます。

報告書は広く配布し、出土した遺物は埋蔵文化財センターにおいて収蔵・展示し活用・公開に供します。



取組方策5-2

郷土資料等の収集・調査と公開

千歳市の個性豊かな自然、歴史、文化とのふれあいを通して、より多くの市民が郷土への意識を高めることを目指し、郷土の資料等を収集・調査し、公開と活用を図ります。

(主要事業) : 「文化財普及啓発事業」

市民が自然や歴史、文化を知り、郷土を考える機会を充実します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 体験学習、企画展示、講演、出前講座などの参加人数	700名	1,000名	1,200名

事業概要

体験的な学習会や企画展示、それらに関連する講演会を実施して文化財への理解を高めます。

子どもや大人に千歳市の文化財を紹介するパンフレット、児童・生徒向けの教材冊子を作成し、郷土の文化財を知る機会を拡充します。

(主要事業) : 「郷土資料調査事業」

郷土の自然史資料、歴史・民族資料、開拓資料情報等の文化財の収集・調査・管理と情報収集を行い、公開と活用に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 千歳市の郷土資料の収集・調査・管理とデータ化を行い、公開・活用のための資料とする	1,200点	1,250点	1,300点

事業概要

郷土資料の調査とデータ化を行います。

郷土資料展示・公開事業における収蔵郷土資料の整理・公開の推進と関連しつつ、さらに資料の収集・調査を継続します。

(主要事業) : 「指定史跡維持管理事業」

市内指定史跡の整備と公開に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 市内指定史跡の整備と公開箇所数	1カ所	2カ所	3カ所

事業概要

市内の国指定・市指定史跡を訪れる市民が、快適かつ安全に見学し学ぶことができる環境の整備に努めます。



取組方策 5-3

伝統文化の保存と継承

千歳市の伝統文化である郷土芸能やアイヌ文化が保存され、次の世代に継承されるよう努めます。

(主要事業)：「市指定文化財保存伝承活動補助事業（泉郷獅子舞保存伝承活動・アイヌの伝統的芸能と工芸技術保存伝承活動）」

郷土芸能・アイヌ文化への理解を深め、その保存と継承を支援します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 市指定無形民俗文化財の伝承 活動の支援	2件	2件	2件

事業概要

市指定無形民俗文化財「泉郷獅子舞」及び千歳アイヌの伝統的芸能と工芸技術を保存し継承しようとする活動の伝承に取り組む団体の活動を支援します。





推進方向 6

地域における各種スポーツ活動の活発化と団体の育成

(現状と課題)

近年、自由時間を活用した精神的な豊かさを追求するライフスタイルへの意識が高まる一方、ストレスが増大し、体を動かす機会が減少するなど、心身両面の健康問題が顕在化しています。

生涯にわたり健康で明るく、スポーツに親しむことができるライフスタイルを目指す市民が増加しており、健康づくりのための運動や身近なスポーツなど、今後ますます多様化する市民ニーズに対応したスポーツ施策の展開が求められています。

子どもの生活環境においては、遊ぶ機会の減少やスポーツをする時間の不足により、体力・運動能力は低下傾向にあるほか、武道が必修科目に導入されるなど、学校体育の環境も変化しています。

また、千歳市では多くの体育指導委員やスポーツ少年団等の指導者などが活躍していますが、市民団体の活動に際してはさらなる指導者の確保が求められています。

これらのことから、地域における※生涯スポーツを推進するとともに、各種スポーツ活動の活発化と団体の育成に努めます。



※ 生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できるスポーツ」。

取組方策 6-1

生涯にわたるスポーツ活動の促進

スポーツを通じて健康で心豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツの推進を目指し、健康づくりや体力増進に関する市民意識を啓発するとともに、スポーツに親しめる機会の充実を図ります。

(主要事業) : 「スポーツ普及推進事業」

年齢や体力に応じた市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進するため、「スポーツ普及推進事業」を推進します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) スポーツ施設利用者数	846,138人	856,000人	864,000人

事業概要

千歳市体育協会の事業を通して、スポーツの普及振興を図るとともに、*スナッグゴルフなどのニュースポーツをはじめとする、生涯スポーツ活動に関する情報を発信し、市民のスポーツに対する意識を啓発しています。



* テリー・アントンとウォーリー・アームストロングの2人の米国プロゴルファーによって2001年に開発されたスポーツ。スナッグ(SNAG)は、“Starting New At Golf” (“ゴルフを始めるために”の意)の頭文字を採った造語。ゴルフと比較して、子供や初心者でもボールを容易に打つことができ、場所を選ばず安全にプレーできる。

取組方策 6-2

スポーツイベント、スポーツ教室などの充実

市内のスポーツ関係団体と連携して各種スポーツイベント、スポーツ教室を開催するとともに、市民ニーズに即した内容の充実を図ります。

(主要事業) : 「スポーツイベント開催事業」

スポーツイベント、スポーツ教室などの充実に努めます。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) スポーツ事業の参加割合	89.1%	90%	91%

事業概要

千歳市体育協会等と連携し、千歳JAL国際マラソン、千歳ホルメンコーレンマーチ、千歳ジュニアスポーツフェスティバル等のスポーツイベントや各種スポーツ教室、講座などを実施しています。



取組方策 6-3

スポーツ活動を支援する指導者や団体の育成

市民が気軽にスポーツを楽しむことができるように、体育指導委員やスポーツ指導員などを配置するとともに、各種スポーツ団体の育成に努めます。

(主要事業) : 「スポーツ指導者配置事業」

ニュースポーツをはじめ、多様化する市民のスポーツ活動を支援する指導者や団体の育成・確保を図るため、「スポーツ指導者配置事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) イベントやスポーツ教室におけるスポーツ指導者の支援人数	1,077人	1,200人	1,250人

事業概要

※体育指導委員及び※スポーツ指導員を配置し、市民のスポーツ実技の指導、スポーツ行事の開催、スポーツ行事への協力を行うとともに、スポーツセンター及び総合武道館において、市民及び各種団体が行うスポーツやレクリエーションの指導や協力を行っています。



※ 市町村におけるスポーツの振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う委員。

※ 千歳市スポーツセンター及び千歳市開基記念総合武道館において、市民及び各種団体が行うスポーツ及びレクリエーションの実技指導を行う指導員。

取組方策 6-4

市民のスポーツ意識の啓発

スポーツの普及振興に寄与した個人・団体、スポーツ大会等で優秀な成績を収め市民に感銘を与えた個人・団体を表彰することにより、市民のスポーツ意識の啓発を図ります。

また、スポーツに関する情報を広く提供するとともに、市内で開催されるプロスポーツ大会などを支援し、スポーツ観戦や一流選手との交流を進めるなど、スポーツ意識の啓発を図ります。

(主要事業) : 「スポーツ表彰事業」

活力あるライフスタイルを築くため、「スポーツ表彰事業」などを実施し、市民のスポーツ意識の啓発を図ります。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) スポーツ表彰被表彰者数	3名	4名	4名

事業概要

千歳市のスポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著な個人・団体にスポーツ賞を、また、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収め、今後も意欲的な活動・活躍が期待される個人・団体にスポーツ奨励賞を毎年贈呈しています。

取組方策 6-5

小中学校施設の地域開放

市民のスポーツ活動等の場をより多く提供するため、学校体育施設を開放するとともに、利用しやすい管理運営に努めます。

(主要事業) : 「学校体育施設開放事業」

市内の小中学校施設を学校教育に配慮しながら、スポーツの普及のため、地域開放施設とする「学校体育施設開放事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 学校開放のスポーツ利用回数	8,089回	8,150回	8,200回

事業概要

学校の校庭及び体育館を学校教育に支障のない範囲で、スポーツの利用に開放します。



推進方向 7

思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進

(現状と課題)

家庭や地域の教育力の低下により、青少年の思いやりの心や道徳観、倫理観、社会性、コミュニケーション能力などの人間性の欠如や、困難な問題に立ち向かう姿勢の低下が大きな問題となっています。

これまで、青少年の生きる力を育むための学習機会や体験活動機会の充実に取り組んできましたが、これからの社会を担う青少年にとって、それらに加え、思いやりの心やチャレンジ精神（目標）を持つことは、長い人生を歩む上でも必要なことです。

市内には青少年の健全育成に取り組む人や団体が多く、子どもが地域で安心して安全で楽しく過ごし、健やかな成長を願いながら日々の取組を実施しています。

青少年を暖かく見守り、体験活動を支える地域活動は、青少年の健全育成には欠かせないものとなっています。

これらのことから、思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動を推進します。



取組方策 7-1

家庭、学校、地域などとの 連携・協力を通じた健全育成活動の推進

家庭、学校、企業、地域などの、様々な教育力（知識・経験・ネットワーク）と連携・協力しながら、有害環境から子どもを守るなど、青少年が地域の中で健やかに育つ環境づくりに努めます。

（主要事業）：「青少年育成推進員設置事業」

家庭、学校、地域などと連携・協力し、「青少年育成推進員設置事業」を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 青少年育成推進員の委嘱者数	121人	130人	130人

事業概要

地域における児童の健全育成対策及び市内子ども会活動の推進に当たるため、千歳市青少年育成推進員を設置しています。

市内各地域から選出された子ども会の指導者や健全育成団体活動の経験を有する者などに対し、教育長が委嘱します。

青少年育成推進員の主な職務

- ・ 地域における児童の健全育成活動の推進に関すること
- ・ 地域子ども会への育成協力活動に関すること
- ・ 各関係機関及び団体との連携に関すること
- ・ 市が行う子ども会健全育成事業に対する協力活動に関すること



取組方策 7-2

関係団体の育成と活動の支援

市内には教育的機能を有する「千歳サケのふるさと館」を設置・運営する(財)千歳青少年教育財団など、青少年の健全育成に取り組む様々な関係機関があり、それぞれが持つ教育力が地域で最大限に発揮しながら活発な活動が行えるよう、各種関連団体等の育成と活動支援に取り組めます。

(主要事業) : 「子ども活動支援センター設置事業」

青少年活動に関する情報の収集・提供、活動相談、事業コーディネートなどを通じ、青少年関係団体の活動を支援します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 情報紙を通じて活動情報を紹介した延べ団体数	290団体	295団体	300団体

事業概要

青少年の体験活動等の機会充実を図るため、市民ボランティアが運営する「子ども活動支援センター」を設置し、青少年の体験活動等に関する情報の収集・提供、活動相談、事業コーディネートなど行っています。

- ・情報紙「マナビー」の発行(年12回)
- ・情報紙「少年団体一覧表」の発行(年1回)
- ・事業のコーディネート(自主事業年4回程度)
- ・活動相談



取組目標 7-3

自然体験や地域文化の理解、 科学探究活動の充実

自然環境や地域文化を生かした体験学習活動機会や科学探究活動機会の充実に努め、考える力を育むなど、生きる過程で生じる様々な困難な問題に対し、自ら取り組む姿勢が身につくような学習機会の充実に努めます。

(主要事業) : 「チャレンジ教室」

自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図るため、「チャレンジ教室」などの体験活動事業を実施します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 子どもたちを対象とした体験活動機会の数(チャレンジ教室の開催数)	8回	10回	12回

事業概要

市民ボランティアが講師となり、ものづくりなどを通じた、子どもたちの生きる力を育むための体験学習を実施しています。

内容 : 「おっと！音の実験だ～エコーマイクを作ろう！～」

「牛乳パックであみものしちゃおう」

「シャボン玉名人と遊ぼう！」

「木の実で遊ぼう！」

など

会場 : 教育委員会庁舎など

回数 : 年8回



取組方策 7-4

青少年の非行防止

近年の青少年非行などの問題行動については、その背景や要因に対し家庭・学校・地域社会及び関係機関・団体が連携して対応するとともに、子供の非行、問題行動に悩んでいる親や、悩みを抱えている青少年に対し、適切な助言・支援ができる相談窓口体制の充実に取り組み、青少年の非行の未然防止・※有害環境の排除に努めます。

(主要事業) : 「青少年指導センター設置事業」

青少年を有害環境から守るため、関係機関との連携を強化し、巡回指導の充実を図るなど、問題行動を未然に防止します。

成果指標	平成21年度 (現状値)	平成27年度 (目標値①)	平成32年度 (目標値②)
(目標値) 青少年を指導した年間延べ件数	261件	200件以下	170件以下

事業概要

インターネットや携帯電話などの問題にかかわる取組とともに、青少年の喫煙、飲酒、薬物乱用などの非行問題の防止のために巡回・指導体制の強化を図ります。

平成21年度実績	街頭巡回指導	236日
	特別指導(神社祭典・盆踊り大会)	4日
	早朝・夜間指導	各23日
	列車指導(新札幌・苫小牧・追分)	7日

※ 青少年の性的感情を著しく刺激したり、暴力や残虐な行為、犯罪を誘発する恐れのある出版物、映像、ゲーム、ウェブサイト、深夜営業店舗、広告物など、青少年の健全な育成を阻害する社会環境のこと。

